

市民協働推進補助金に関する審査の更なる充実に向けて

1 制度の概要

横須賀市では、市民団体の公益的な活動を支援するため、「市民協働推進補助金」制度を運用しています。団体から審査申込書（事業計画書）の提出とプレゼンテーションが行われ、その後、市民協働推進補助金等審査専門部会の委員により審査が行われています。

2 審査基準

審査は以下の5つの観点から評価されます。

- I 社会性の高い公益活動であること
- II 事業計画に客観性及び現実性があり、事業実施による効果が期待できること
- III 予算計画に客観性及び現実性があること
- IV 先駆性、独創性、迅速性など、市民公益活動の特性が活かされていること
- V 広くボランティアが参加できるような活動であること

3 審査における予算精査のさらなる充実に向けて

(1) 審査の現状

審査は、社会性や事業内容を中心にととても丁寧になされています。予算項目については公金を活用する補助金としての責任から、金額の適正性について審査することが求められますが、以下の点から審査に必要な情報が揃わないケースがあります。

- 個々の経費の金額規模や重要度について、審査会のなかで委員が判断できるような資料になっていない
- 経費が細かく積み上げられているかどうか、分からない書き方になっている
- 補助対象外としている「団体の経常費」と、補助金として交付する事業に要する経費の判断が難しい

また、補助金審査申込書の記載については、「市民活動サポートセンター」で相談受付を随時行っているところですが、利用は限定的です。

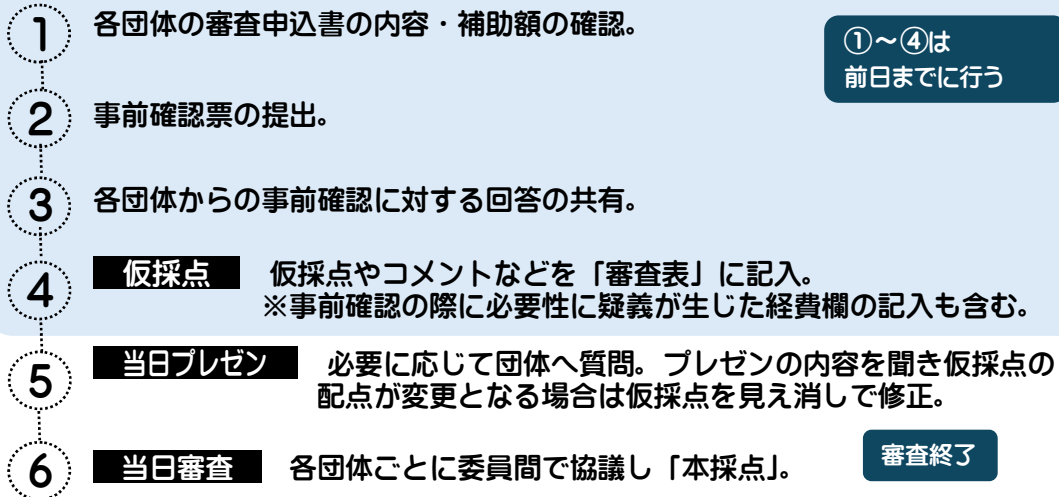
(2) 審査資料に対する事前質問の重要性・活用について

審査を円滑かつ的確に進めるためには、審査委員が応募団体から提出された資料を事前に十分に確認し、疑問点や不明点を事前質問として事務局へ提出することが重要です。過去の審査においては、プレゼンテーション終了後の非公開審査において、各団体に対する新たな疑問点が発生し、判断に迷うケースが見られました。

事前質問を適切に活用することにより、応募団体との事前の情報調整や説明確認が可能となり、審査当日にはより充実した情報を基に評価を行うことが可能となり

ます。これにより、審査の効率化および評価の質の向上が期待されます。

【参考】 審査の流れ



(3) 市民活動サポートセンターへの事前相談に繋がる動線の改善

市民活動サポートセンターでは、各種補助金に関する相談を受けており、市民協働推進補助の申請に関する相談も受け付けています。市の窓口へ提出する前に必ず相談の機会を設け、記載事項の不備（不足・誤記）や不足書類についての確認を行えるよう募集要項に目立つように明記するなど、市民活動サポートセンターでの事前相談に繋がるよう、団体が申請する際の動線を改善します。

4 審査における予算の考え方

今後も引き続き以下のような観点を念頭に置き、予算についての審査を行います。

- 予算の具体性・合理性を確認し、妥当性を丁寧に検証する。
- 過大な見積りになっていないか、標準的な費用感を共有する。
- 不明点があれば団体に質問・説明を求めるなど、透明性を高める。
- 必要な支援はしながらも、過剰な補助を回避し、公金の有効活用を意識する。
- 審査申込が2回目以上となる団体は特に、財源の多様性（補助金に依存せず自主財源が確保されているか）や将来的な自立可能性についても審査する。

今後、審査の段階で不明点が生じた場合は、団体へ直接連絡をとることも検討します。必要な情報を揃えたうえでより一層の適正な審査を進めることが、団体の健全な発展と持続性確保に繋がると考えます。